

号外！ 議会だより

置戸町議会 平成 26 年 8 月 10 日

「議会懇談会」 7 月 9, 10, 14, 15 日 開催

出席された皆さんからのご意見や要望を紹介します

◎ 議員の定数について

置戸地区（参加者 7 名）

- ・議会以外での機関で定められないか
- ・町民からの意見を尊重すべきだ
- ・若い人が出ればいいのだが
- ・10人が最低では
- ・少ないから良いという事ではない
- ・女性議員が出てほしい
- ・町民の多くは減らせと言っている

勝山地区（参加者 9 名）

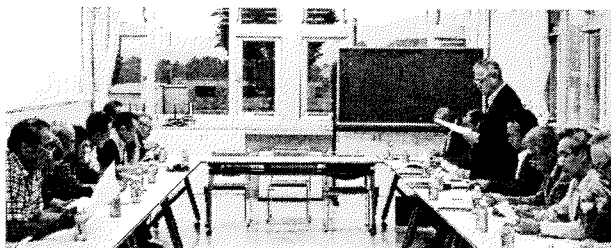
- ・現状の定数のままで良いのでは
- ・9人では問題はあるのか
- ・議会の運営上10人は最低必要では
- ・追認機関であれば10人はいらぬ
- ・議会はチェック機能を果たすべき
- ・町民の多くの意見を聞いて結論を
- ・あと2カ月での結論は心配だ
- ・議員の前で減らせとは言いにくい

境野地区（参加者 6 名）

- ・減らして1人当たりの報酬を上げては
- ・議員の報酬を上げれば立候補者が増えるのでは
- ・議員の総意はどうなのか
- ・女性議員がいないのは寂しい
- ・若い人や勤め人でもやれる報酬を
- ・報酬を上げることも必要では
- ・女性が出てもらうのであれば今の定数が必要

秋田地区（参加者 8 名）

- ・JA 役員も一気に減らしすぎたのでは
- ・議員として何人が適当か
- ・議会の機能を十分生かすことが必要
- ・定数に満たないのはまずい
- ・活発になるような議論を
- ・十分な活動ができる事を考えるべきだ
- ・1名定員に満たなかった事が問題だ
- ・人数が少ないと意見が偏るのも心配
- ・10人で頑張ってもらいたい



※ 裏面へ続く～

◎ 議会や行政に対する意見要望など

置戸地区

- ・町民がもっと議会に関心を
- ・一般質問の内容も質が低いのでは
- ・多くの意見を議会に反映すべきだ
- ・福祉事業を産業振興の核にすべき
- ・空き家、廃屋対策は
- ・産業が衰退している
- ・置戸高校有名にし隊の成果は
- ・「ゆうゆ」の町民利用拡大と皆で盛り上げを

勝山地区

- ・水源地の確保と保全について
- ・停電対策は万全か（恒久対策を）
- ・公共交通対策について（アンケート調査を実施しては）
- ・若い人の働く場の確保について（企業誘致は考えられないか）
- ・「ゆうゆ」の経営について（地元還元を、料金の見直しを、PRが足りない）
- ・定住対策、新規就農対策を
- ・職員の退職後の再雇用と配置について（検討すべきでは）

境野地区

- ・議員視察研修の結果について
- ・議員報酬について
- ・議員は忙しいか 拘束される日数は
- ・境野公民館の改築要望について
- ・議会で活発に意見が出されているか
- ・前回10人で決めて定数に満たなかったことは議員にも責任が
- ・町民からの目線では魅力ある議員になっていない
- ・議員が退職者や自営業者に限られている
- ・議会の動きが良く見えない。情報は速やかに伝えてほしい
- ・1号橋の工事始まりについて

秋田地区

- ・高齢化や一人暮らしに対する施策
- ・高齢化率や介護保険料の上昇に対する懸念がある
- ・若者の仕事場がない
- ・農家の減少は今後確実だ
- ・土地改良事業に対する支援を
- ・法人化（農業）などへの取り組みをしてほしい
- ・JAは後継者対策が一番だ
- ・各戸に一斉放送の設備を（災害防災）
- ・元気な町にしてほしい
- ・特別委員会の結論を注視している

「議会懇談会」を終えて～

議会活性化委員会の取り組みの一つである議会懇談会（報告会）も、8回目を終えることが出来ました。今回は「議会定数に関する特別委員会」としても町民の皆様との意見交換の場と考え、初めての試みとして各地区へ議員全員で臨んでの開催となりました。4地区で計30名の方の参加でしたが、議員の定数問題ばかりではなく、議会の在り方に対して、また人口減少、高齢社会に向かった町づくりに多くの意見や提案を頂きました。特に定数問題につきましては、町民の皆様の関心が高いことであり、頂いた意見を整理し、議会だより号外として発行することと致しました。「懇談会」、その主旨に沿った形で、まさに近い距離感で参加の皆様と活発な意見交換が出来ましたことに感謝を申し上げると共に、議会の活性化に向け議員全員で取り組んで行く事をお誓い申し上げ、お礼とさせていただきます。

置戸町議会議長 佐藤 純一